

のうこうそく 脳梗塞

NO
12-2



(厚生労働省「平成16年国民生活基準の概要」より)
介護が必要になる原因のトップは脳梗塞などの
脳血管疾患です。(日本人の死因の第3位)



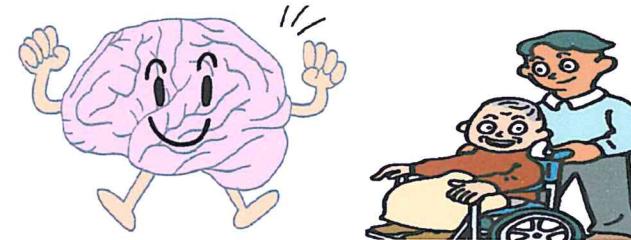
◆検診などで高血圧・高脂血症・糖尿病・肥満などと言われた人、複数の生活習慣病を持っている人に脳梗塞の可能性が特に高いといいます。しっかり管理をしましょう。

大成会 広報室

<脳梗塞とは>

脳の動脈が急に閉塞したために脳組織が酸素欠乏になって機能しなくなった状態をいいます。

原因によって「脳血栓」と「脳塞栓」に分けられます。



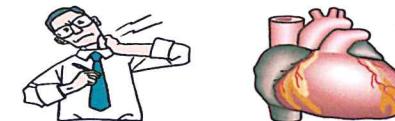
「脳血栓」

脳自体の血管に血栓と呼ばれるカタマリが出来ることで、血管が詰まってしまう病気です。

脳梗塞の70%を占めています。

頭痛・手足のしびれや脱力・舌のもつれ

半身麻痺・時には多くの場合意識障害などを起こします。(比較的前ぶれのサインが出ます)



「脳塞栓」

心臓や首などの太い血管に出来た大きなカタマリが血液の流れに乗って、脳の血管を詰まらせてしまう病気です。

ケイレン・半身麻痺・意識障害などを引き起します。(前ぶれもなく、いきなり発作が起こり、急激に重篤な状態になりやすい)



■症状

ものが2つに見える、半身の麻痺、ろれつが回らない、手足のしびれ、力が入らない、意識が途切れるなど、軽いと気にしないものですが、ちょっと怪しいなと思ったら、直ちに検査を受けてください。脳梗塞の兆候かもしれません。。。急な場合



■治療法

日本では脳梗塞の進行を抑える点滴の治療が中心です。(脳の血管が詰まると、連鎖的に血管が詰まっていくのを抑えます)

「抗血小板療法」又は「抗凝固療法」などがあります。

◆発病から3時間以内の治療開始が好成績を生んでいます。



■予防法

★高血圧の人は塩分を控えましょう。(1日10mg以下)

★高脂肪食を控えてコレステロールを減らしましょう。

★お酒(1日1合以下)やタバコは控えましょう。

★ストレスを貯めない。

★夏場は、高齢者にとって、脱水を起こし血がどろどろになりやすいので水分をたっぷりとりましょう。

★冬場は脱衣場や浴室の暖房を行いましょう。

★食事直後やお酒を飲んだ後の入浴は止めましょう。

★お風呂のお湯の温度は40°C以下にしましょう。

★お魚を充分に摂りましょう。